

## 【心の平和について】

ここ一年ほど、『平和』について自分の中で考える『とき』を重ねています。

ぴっぴの子どもたちと過ごす時、小学校で『表現コミュニケーション授業』を行う時、家で家族と 過ごす時、浅麓地域の人たちにお話を聴きにいく時、森で子どもや保護者の皆さんとワークショップを行う時、舞台を創作し公演をする時・・・。

「平和ってなんだろう?」それぞれの正義がある中で、世界で戦争が続いていて、心も身体も傷ついている人々に対して、何もできない私が、平和に向かって何かできることがあるのだろうか。

このちっぽけな私にできることって何だろう?私はどう生きていきたいの? そんな問いでもあります。

子どもの頃から、自分の根っことして「世界が、大切な人が、平和でありますように」という想い は漠然とだけれど、ずっとあったように思います。家族というコミュニティの中でケンカもしなが ら、愛されて育ってきたからなのかもしれません。

今、大人になって、血がつながっていてもいなくても『大切な家族』が、私の周りにはいて、この 土地で出逢ってきた人たちと新たにつながり始めて、大切な人たちがまた増えて。

私の『表現』を通して、出逢ってきた人たちと過ごす中で、みんなの身体と心が満たされればいいなという想いが自然と湧いてきました。

私自身が心地よく満たされる、という感覚を、森にたくさんもらってきたからだと思います。 安心と緩む感覚と。

学校の子どもたち・先生と関わるようになり、みんなすごくがんばっている、でも孤軍奮闘しなが ら苦しそうだなと感じることが多いです。

『満たされる』には、心と身体が緩むこと、心を動かすこと、人と関わる上で弱音を共有できること、疲れた日は「疲れたね~」とねぎらえること、そして『自分のままで大丈夫と思える時間』が 大切。

そして子どもが緩むためには、目の前にいる大人が緩むことがなにより大切だと感じています。

今、先生たちや地域の人たちと、日々起きて感じていることを、ポジティブもネガティブな気持ち も、ともに共有する時間を創り始めています。

ぴっぴの森では子どもたちが日々、笑って、怒って、泣いて、怖がって、感情を精一杯出し、心を動かしながら、生きています。

私は出逢った子どもたちから、怒りたい時は怒って、泣きたい時は泣いて、笑いたい時は思いきり 笑う、ということを身体と心を通して、たくさん教えてもらいました。

子どもたちのように生きたいと思い、そのことを実行するようになり、今では、そのときに感じた ことを、そのまま私も出すということが自然とできるようになってきました。

それは私自身を満たしてくれる大切なこと、でした。

家族にも、「いま、生理前だからイライラしてるのでよろしく」と先に伝えています。夫も子ども も、「あ~生理前ね」とだいぶ慣れてきてくれたようです(笑)。

毎日、仕事が忙しくて、うぎゃー!となりながらも、自分の満たされる時間をとりながら、時間も 心もバランスをとって生きていきたいなと思います。

私の今の一番しっくりくる言葉は、『満たされる=心の平和』。

私の中にある心の平和を出逢った人や自然とわかちあう。

シェアして、それぞれの心の平和が緩やかにつながっていく。そんな風に小さなつながりが少しずつ広がっていく、満たされていく「この小さなつながり」が、近くの人、そして遠くの人を想えるようになるという願いをこめて。

いつかぴっぴの保護者の方たちとも、森でそんな時間を創れたらいいな。

: 小林聖子



## とまつりお知らせ

おんなで、箱刈りした リス大隻したてのひかひかの 新米を飯ごうで火火いて、この秋の実りを親子一緒に お 祝いしましょう.

また、新米まつりの午後の音のでは、今年も センナセンナまつりを開催します、ひのひの森に いろいろなお店がオープンします.

みなさんにお買いそのしないただいた売り上げから、

来年の20周年に向けだ資金に充てさせて

いただきたいと思います。

じヒッサモッナまつりの出店にご協力いただける方のミーティッグ・・14時~バイブル

日時 [1月18日(火)

集合 9:00~9:15 お店閉店 15:00 ごろ

場所ひのなの森

もちもの・水筒・必要な食器

・軍手

·大人ひとり1,000円の参加費

11月11日(火)までに、

大人の参加人数を 黒板近くの 紙に ご記入をお原真いいたします (祖父母のみなさまも大を欠迎です!)

411/4(火)

- 新米
- ・まゆさん特製 るいかけ
- ・具だくさん 计to
- つけ合わせ
- ・発介もち米で おもち 信ないやあれるなど